

地区行動指針：「理念と実践 ～Think Next～」 クラブスローガン：「良いクラブ、魅力あるクラブ、参加してみたいくなるクラブ」

国際ロータリー第 2790 地区

第 3 分区 A

千葉西ロータリークラブ

WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
 会長 大森 薫 幹事 野口アキ子
 例会場 千葉スカイウィンドウズ 東天紅 センシティタワー23階
 TEL 043-238-5555
 例会日 毎週火曜日 12:30～
 事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
 TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
 URL : http://www.chibawest-rc.net/



■ 会長挨拶 / 大森 薫 会長

皆さん、こんにちは。台風が接近していましたが、千葉県にはそれほど大きな影響がなく、良かったと思います。

さて、昨日で、台湾高雄との子弟交換事業が、成田見送りで全て終了しました、見送り来ていただきありがとうございます。今回は会員の減少によりまして、子弟交換事業、納涼家族例会、ディアフレンズ美浜の夏祭り、地区の奉仕プロジェクト研修と沢山の行事が重なり、それぞれ役割分担していただき、皆様にはチームワークよく、大変ご協力いただき、ありがとうございました。この3～4日間で、気のついたところをご報告します。

(1) 納涼例の日に子弟交換の小旅行がありました。私たちは東京駅からはバスツアーでした。納涼例会の準備に人が不足、今野委員長は非常に困っていました。荷物が届いたり、誰が受け取るのかなど、

手配をしたりと、その都度、LINEに状況が知らされてくるので、はらはらしておりました。夕方、4:49に花光さんからLINEで「会場の準備は完了」の連絡はいりまして、本当にホッとしました。大変でしたが、皆さんの協力によりまして、親睦委員会の「和」が生まれてきたような気がしました。

(2) また、台湾の子弟の中で、エルビスという川城宅にステイした14歳の子供ですが、TDLに来て、笑顔がないなと思っておりました。夕方、スパークになにやら話しをして、「よし！」とガッツポーズを取っていたので、どうしたのとスパークに聞いたら、千葉西RCで子供達が挨拶をする場面があるとされていたらしく、それが不安で楽しめなかったと聞きました。その後、エルビスはニコニコと笑顔を見せるようになり、積極的にジェットコースター系に乗り物に乗るようになりました。このような思い出はエルビスにとって大変良い経験になったと思います。彼がスペースマウンテンに乗った時、一緒に行った子供達から拍手が起こったそうです。子弟交換は大人にとっておつきあいが大変ですが、続けて良かったなという場面でした。

(3) また、もう一点。我が家にステイしたテレサという子が小旅行の日に千葉駅から乗ったのですが、写真などを撮っているうちに切符を落としてしまい、電車に乗ってから、その事に気づきました。グリーン車ですから、検札に来ます。切符を落としたこと、切符を持っていたことをスマホの写真を見せ、マニユキアの親指が写っていることを説明しましたが、やはり見つからなければ、再購入して貰うことになるという返事でした。また探して下さいと行って、駅員さんは離れましたが、数分後、その駅員さんが再度、席まで来まして、切符は見つかりましたかと聞かれまして、無いと答えると、今千葉駅に問い合わせたら、切符が届いていたと言うことです。

「財布を無くしても、また、返ってくる日本」という国は素晴らしい国なのですが、切符を落としても、出てくるのは日本なのです。日本という国は素晴らしいと思いました。私は台湾の人達に対し、日本は素晴らしいだろう！と誇らしかったです。切符は金券ですから、お札を落としたのと同じです。そのまま使えるのですが、届けられていたのです。

大変な4日間でしたが、このような素晴らしい事が起こりました。千葉西RCの会員の皆様のご協力により、クラブ行事で一番大変な事業を無事終わらせることが出来ました。心より、皆様のご協力を戴いたことに感謝致します。ありがとうございます。

■ 四つのテスト / 飯高喜代志 会員

「言行はこれに照らしてから」
 真実かどうか
 みんなに公平か
 好意と友情を深めるか
 みんなの為になるかどうか



■ お客様

なし

■ お誕生日祝い

園川、花嶋、前野、花澤、賀来 各会員

■ ご結婚記念日祝い

該当者なし

